



2011年

春季号

目次

- 1…Manager's Eye
- 2…シンクライアントシアター
- 3…ご紹介・情報コーナー
- 4…編集あとがき

この度の東北地方太平洋沖地震により被害を受けられた方々に、謹んでお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復興を、心からお祈りしております。

平成二十三年 四月 インフィニティスタッフ一同

サーバーの震災に対する備え

先日、弊社シンクライアントの導入を検討している岩手県の企業から、「震災でサーバーが壊れて早急に対応したい」という連絡が入りました。地震の影響でサーバーが壊れて業務が止まっているとのことでした。東京のお客様からは、計画停電の度にサーバーを上げたり落としたりで仕事が進まない…とも聞いています。

弊社では パソコンで利用しているソフトやデータをサーバーで利用するシンクライアントの導入をご提案して来ましたが、サーバーの管理は100%リモートで行うので、サーバーはお客様の所に無くても良いのですが、「手元に置きたい」という要望が強かった為、サーバーはお客様の会社に置いています。データセンターにサーバーを置きたいという要望も無かった訳ではありませんが、データセンターの利用料金がなくて、結局、断念をする場合が殆どでした。

震災以降、データセンターには「サーバーを置きたい」という問い合わせが増えているといいます。「サーバーを自社に置くのは震災時に安心できない…」ということだと思いますが、データセンターの利用ニーズは一層高まるものと思います。

弊社でもサーバーをデータセンターに置くことは視野には入れていましたが、コスト的な問題があり、数年後を目処に検討を進めていました。今回の震災で早急にデータセンターの利用を検討する必要を感じ、データセンターと技術面の検証及びコスト面の調整を始めています。

今回の震災はいくつもの大きな教訓を残してくれましたが、今後の企業経営に活かして行きたいと思えます。

クラウドとシンクライアントの違い..

この震災でクラウドも注目を集めていますが、クラウドとは「ソフトをパソコンにインストールしないでサーバーで利用する」仕組みを言います。パソコンで使っている全てのソフトがクラウド化されたら震災時でも安心ですが、完全クラウド化は現時点では不可能ですね。シンクライアントは「全てのソフトをサーバーで利用する」という点でクラウドと似ていますが、ソフトだけでなく「デスクトップごとパソコン環境をサーバーで利用する」という点で、クラウド以上にパソコンに依存することが無くなります。いつ実現するかわからない技術でなく、今使える技術という点でも、震災対策には適した手段と言えます。



こちらのコーナーではビジネスを通してご縁のあった方々にコンサルティング・カウンセリング・社内教育などの課題に応じて特集記事を書いていただくコーナーです！

第2回は(株)ジャスト・エナジーの若松哲也様に失敗しない省エネ選びについてお話を伺いました。

～失敗する省エネ～

地球温暖化による環境意識の高まりから省エネの必要性が日々高まってきております。

昨年に施行されました改正省エネ法では一部の企業への省エネの義務化が始まりました。しかしながら、

『省エネしたけど思ったほどの効果が見込めなかった！』

『省エネ器具を設置したが、不具合あって取り外した！』

などの事例を聞くことがあります。その逆に

『想定以上の効果で大きなコスト削減となり大変助かった』

『省エネしてからエアコンの故障の頻度が少なくなった』

というような成功事例もたくさんあります。

何故、省エネ対策を実施してうまくいく場合と、うまくいかない場合があるのでしょうか。

～省エネ対策でのポイント～



① 費用対効果

省エネに投資した費用をその削減分でどれくらいの期間で回収できるかという目安は大切です。しかし導入の際、うまく把握できていないケースが多々あります。例えば、

(α) 消費電力が50%削減と謳われる省エネ装置や照明器具を取り付けても、消費電力や稼働時間から考えて、省エネ量・金額が少なく、投資に見合わない。



省エネ対象と対策を個別に投資効率と課題により精査して、事業所の実情にあった手法を選択することが重要です。

(β) 特に発電関係で多いのですが、

「年間発電量13,600kwhを実現」と言われると凄く発電していると思いませんか？（実際に某企業のHPに掲載）

電力量・KWH ではわかりにくくピンときませんが、金額に換算(多めに)すると、176,800円、月額ですと14,733円です。投資金額が5,500万以上ですから300年以上の投資回収期間になってしまいます。下記の値で計算(基本料金含まず)してみると損か得かを把握できるかと思えます。

高圧電力での契約の場合は 10円～13円/kwh

低圧電力での契約の場合は 20円～24円/kwh

② 想定される不具合への事前対処

省エネ手法にも様々な手法があり、一部使い勝手が悪くなったり、環境変化を起こす場合もあります。

導入を検討する省エネ手法に関しリスクがあるのか、どのような対策がされているかの確認は重要です。

I 空調制御 空調の効きが悪くなる



【対策】 猛暑等の高温時に合わせた設定変更を準備。空調の能力アップの省エネ手法も取り入れる。

II 節水 水道の勢いが弱くなる



【対策】 水の中に空気を流入させたりして、勢いを増す

③ 省エネ計算の根拠と想定値

業者によっては省エネ想定値を厳しく見積もるところから希望的予測の甘い想定値を算出してくる業者もあります。

諸条件により、想定が狂うことも計算尽くで、厳しめの算出で計算された提案の方が安心でしょう。

もし、想定通りの結果が得られない場合の保証に関しても確認しておくことも重要です。

～省エネの可能性～

省エネに成功する。現状の環境・使い勝手を変えずに投資効率よく省エネすることは難しくありません。

今まで省エネ診断した経験で言いますと、省エネ普及率は多く見積もっても、2%～3%くらいです。

長年コスト削減に取り組まれてきた人件費や製造コスト等の分野と違って、痛手を伴わずに、比較的容易に省エネ・コスト削減できる分野はたくさんあります。

また照明器具も一定期間でリニューアルが必要で費用負担が発生します。しかし、費用対効果が高いものを選んで導入すれば、削減したコストで費用を賄えるので、実質無料でリニューアルも可能です。

景気低迷のなかそのような手法により、機器のリニューアルとコスト削減に成功する企業が増えてきました。



若松哲也 … 株式会社ジャスト・エナジー代表 (<http://just-energy.com/>) (財)省エネルギーセンター 省エネ普及指導員
200を超える事業所の省エネ調査・診断に携わり、電気・水道・重油・ガスで40近くの省エネ手法を使って、エネルギーコストの削減・CO2削減に貢献する。取り組みやすい省エネを提案し、安心・確実、期待以上の効果と導入先より好評。



こちらのコーナーでは当社の主力商品である「シンククライアント」のさまざまな使い方について紹介するコーナーです！
第2回は、「iPad もアンドロイドも」をテーマにお送りします

前回の「シンククライアントシアター」では「iPad からシンククライアントを使ってみた」という題材でご紹介をしましたが、「iPad からシンククライアントサーバーにつながるなんて知らなかった！眠っていた iPad の有効活用方法が見出せて、嬉しかった！」などの声を頂き、好評でした☆

すでに iPad を持っている人も意外と使いこなせていない人が多かったみたいです。

iPad をパソコンと同じように利用する企業が多いのに驚きます。機密性の高い図面やカルテまで iPad に入れて利用しようという話も聞きますが、セキュリティもあったものではありませんね。iPad の便利な使い方ばかりが宣伝されては企業として困ったことになりかねません。



【iPad】

iPad を効果的に活用するポイントは企業としての利用と個人的な利用を分けて運用するということです。その点でシンククライアントは最適な仕組みです。

- ・ word、Excel などの office 系のソフト
- ・ メールデータ
- ・ 会社で管理している共有データファイル

はシンククライアント環境で利用すれば、iPad 本体にはデータは残りません！それ以外は iPad の便利な機能を使い、情報収集に活用していくのが良いですね。弊社のシンククライアントのお客様は iPad をより便利に使って頂けたらと思っています。

また、フラッシュが見えない、ソフトがアップルからしか買えないなど iPad の問題も指摘されています。iPad を使い込んでしまっただけでは機種の変更もたやすくはできません。今年は iPad に変わる機種がどんどん出てくると予想されます。アンドロイドという言葉をお聞きになったことがあると思いますが、iPad の欠点を補うということで期待が高まっています。

iPad だけでなくアンドロイドも
シンククライアントに接続できます(^▽^)/



【ドコモ「HT-03A」と東芝 Android2.2 搭載 10.1 型タブレット】

シンククライアントサーバーに接続するためのソフトの購入と簡単な設定だけなので手間はかかりませんし、つないだ後は、使っているパソコン環境がそのまま使用できるので、新しく使い方を覚えることもありません！

iPad より良い機種が出たらいつでも乗り換えられるような使い方をします。その点でもシンククライアントは便利な仕組みです。余分なお金や時間を使わなくても、「すぐにビジネスに活用できる！」といったところもサーバーで情報を一元管理しているシンククライアントだからこそ実現できる魅力なんです☆TPOに合わせてより便利に使っていただくことで、毎日の仕事が楽しくなりますよ(^^)



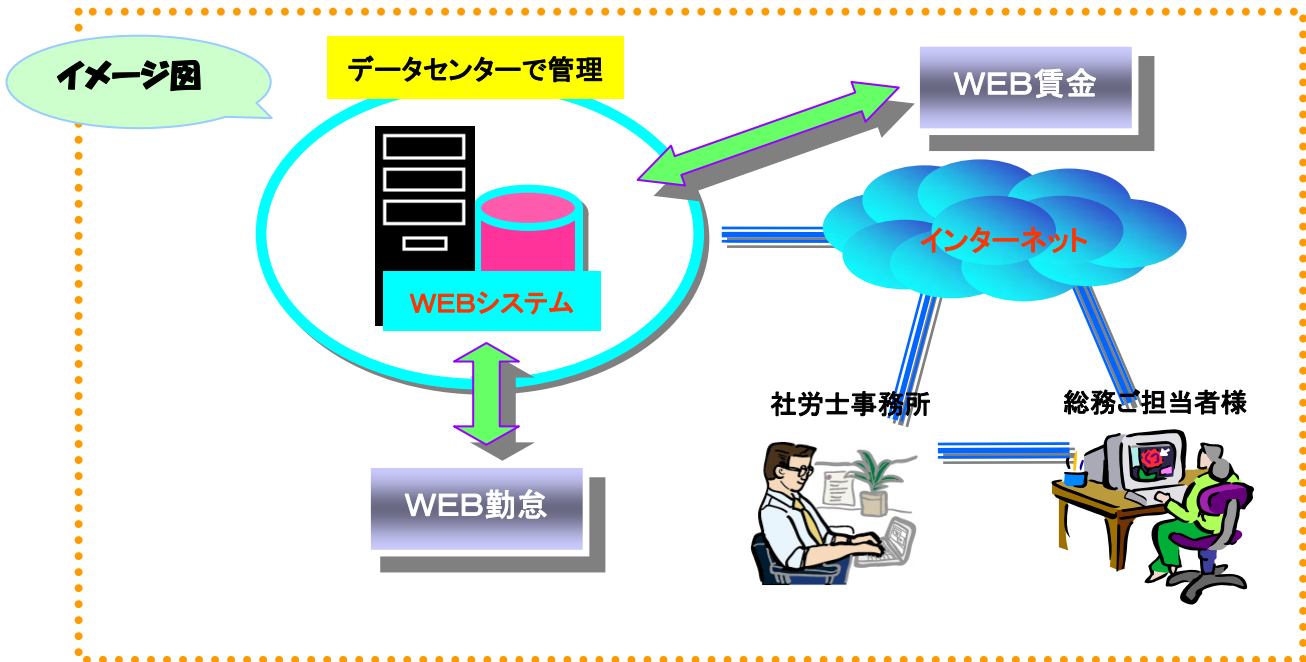
【シンククライアントシステムとは】

企業のシステムにおいて社員が使うPC(クライアント)に最低限の機能しか持たせずサーバー側でソフトやファイルなどの資源を管理するシステムの総称。PCをパーソナル(個人)コンピュータとしての利用を辞め、すべてサーバーに引越すことで、一元管理(リスク集約)をする仕組みで、様々なメリットが得られます。 ※詳細は弊社 HP へ⇒<http://www.infinity-i.co.jp/>

ご紹介・情報コーナー

こちらのコーナーでは経営者の皆様向けにご紹介したい情報をお届けします！
今回は、情報バンク(株)様の社労夢ハウス・総務99ドットコムをご紹介します。

社労夢ハウス・総務99ドットコムの提供するWEB給与計算システムは、インターネットを使って勤怠の入力から、支給明細WEB発行、賞与計算、年末調整、全銀協のデータ作成ができます。パソコンを使ってインターネットから出退勤を入力するWEB勤怠システムとセットで使えば、タイムカードの集計なしで給与計算が簡単にできます。



WEB勤怠は、支店・営業所等複数の拠点の勤怠情報等を本社で一括管理するため、タイムカードの自動集計により現時点の勤怠状況が確認でき、距離を超えたスピーディな対応が可能。また、タイムカード回収と集計作業がなくなるため、総務担当者の業務の簡素化が可能。しかも、バックヤードではパソコンに強い社会保険労務士事務所がしっかりとサポート。コンピュータの操作のことも法改正のこともとても安心です。

【月の利用料】 基本料金 2,000円 + 1人 150円

興味を持たれた方は
こちらまでご連絡いただき、
「インフィニティのiSHAREを
見た」と伝えてください！

情報バンク株式会社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-6 ナカトウ丸の内ビル5階
TEL:052-990-6699 URL:<http://www.johobank.net>

発行所: 株式会社インフィニティ
編集・発行人: 大竹裕子
年4回 発行

INFINITY
For Enterprises

〒460-0002

名古屋市中区丸の内一丁目9-8 丸の内KTビル 4F(昨年8月に引越しました)

TEL:052-232-4600 FAX:052-219-5097

URL:<http://www.infinity-i.co.jp> メールアドレス:support@infinity-i.co.jp